

特別養護老人ホームざおうの杜あおぞ館

〈はじめに〉

私達ざおうの杜あおぞ館では、“笑顔をもち『感謝の心』『奉仕の心』『謙虚な心』で共に喜びを分かちあえる場を提供する”という理念を掲げ、入居者・利用者・ご家族、そして地域の皆様からも愛される施設を目指しております。当施設は住み慣れた環境、つまり自宅からの延長でその人らしい生活を送って、居心地の良い環境づくりと、それぞれの役割や楽しみを持った安心・快適な生活と尊厳あるケアの実践をモットーに日々の生活を提供させていただいています。

認知症になっても、少しでも症状の進行を穏やかにするため、入居者同士や職員、地域との交流を図り、年間を通しての楽しいイベント活動を行うことで、認知症状の緩和に努めております。又、スタッフ一同が入居者の方に対してその方にあったきめ細かいケアを提供し、自立した生活をサポートしていけるよう心がけております。

～認知症ケアへの取り組み～

特別養護老人ホームざおうの杜あおぞ館では認知症ケアを中心とした様々な取り組みを行っております。

① 認知症ケアの質を高める取り組み

- ・職員のスキルアップ向上のため、内部研修を開催しております。認知症の方に対する対応を日頃から記録をこまめに取り、定期的に事例発表を行っております。
- ・認知症より出現した症状を分析し、認知症という病気だけをみるのではなく、その人の人生の歩みを理解し、その人らしく支援します。
- ・各、ユニットで随時情報を共有するため、ケース検討会を開催しております。
- ・外部研修会にも参加しております。

宮城県認知症キャラバン・メイト養成研修

認知症を考える研修会

認知症を含む高齢者のパリアティブ・ケア

認知症介護実践リーダー研修

認知症ケアの歴史と現在

認知症ケアの基礎・質の向上 など研修に参加



② 認知症ケアの環境づくり

- ・プライバシーを守り、全室個室で自宅で使用していた家具や思い出の品を持ち込むことができ、今までの暮らしに近い環境で過ごせます。居心地の良い環境整備を常に心掛けております。
- ・少人数での家庭的な雰囲気の中で、認知症の方でも落ち着いて過ごしていただけるユニットケアに取り組んでいます。

「馴染みの関係」、「家庭的な生活」、「役割のある生活」、「交流ある生活」、一人ひとりに支援するケアに取り組んでおります。穏やかで安心ある人間関係や生活環境をつくり、心身の活性を保つことができるように、“つながり”や連携を大切にしております。